

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

施設名	岡山県岡山リサーチパークインキュベーションセンター
------------	---------------------------

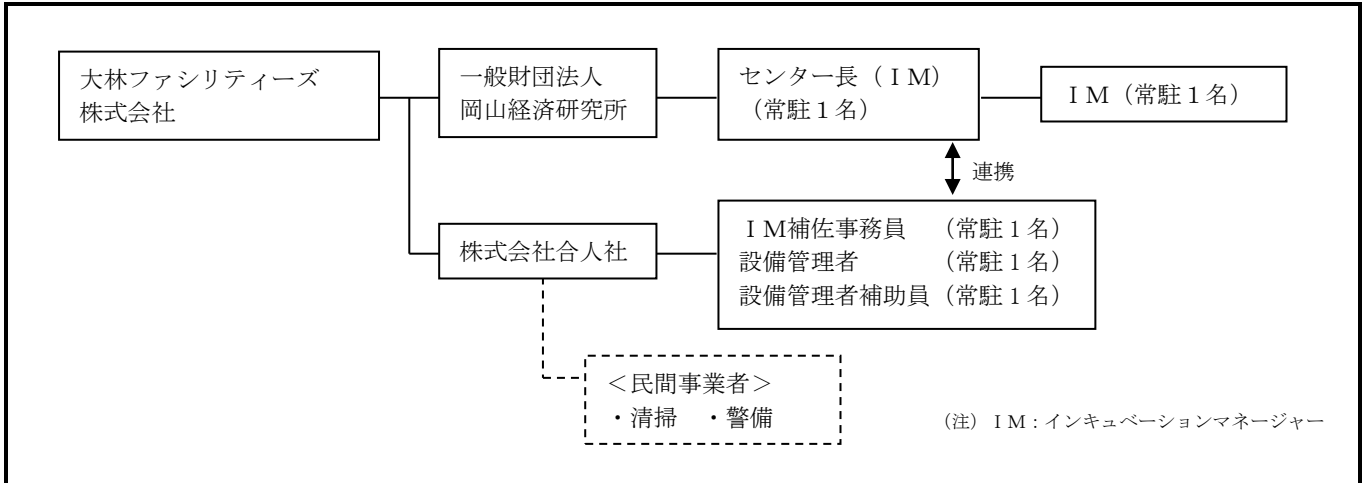
【指定管理者の概要】

名称	大林F・合人社・岡経研共同事業体	代表者	大林ファシリティーズ株式会社 取締役 副社長執行役員大阪支店長 森 良史
所在地	大阪府大阪市中央区備後町一丁目7番10号		

【指定管理の概要】

指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山リサーチパークインキュベーションセンターの運営に関すること。 ・岡山リサーチパークインキュベーションセンターの施設等の維持管理に関すること。 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位: 件)

		研究室・試作開発室		合計
許可件数	3年度	55		55
	2年度	48		48
	増減	7		7

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営 ・入居者募集 ・施設の利用許可 ・入居者支援 ・情報ネットワーク
施設等維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・建物保守管理 ・設備保守管理 ・清掃 ・植栽、外構維持管理 ・環境衛生管理 ・警備

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位: 円、件)

		研究室・試作開発室		合計
収入額		45,526,460		45,526,460
利用件数		55		55
減免額		6,725,770		6,725,770
減免理由	研究室・試作開発室 減免事由 <ul style="list-style-type: none"> ・個人又は創業5年未満の企業等 . . . 15社 (4,332,180円) ・県委託事業、顕彰事業優秀者特典等 . . . 3社 (2,393,590円) 			

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		3年度	対前年度増減額	2年度	備考
収入額 A		99,108,953	3,952,770	95,156,183	3年度収入額 その他の主なもの ・コンサルタント 企画 1,106,160円 ※施設使用料収入 (県で収入) 152,374円
内 訳	指定管理料	52,323,333	0	52,323,333	
	利用料金収入	45,526,460	3,919,670	41,606,790	
	事業収入	0	0	0	
	その他	1,259,160	33,100	1,226,060	
支出額 B		97,120,774	2,235,086	94,885,688	
内 訳	人件費	43,489,437	△2,091,187	45,580,624	
	管理運営費	53,631,337	4,326,273	49,305,064	
	事業費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
収支額 A-B		1,988,179	1,717,684	270,495	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		52,170,959	0	52,170,959	

【特記事項 (管理運営業務の実施状況の点検結果)】

点検項目		区分	特記事項 (評価すべき点・改善すべき点)
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	警備業務計画書等に基づき、安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な 管理	B	施設・設備の修繕は適宜実施され、適切な管理が履行されていた。
導入 効果	①利用状況	B	企業の個別訪問や関係機関主催行事における宣伝活動や、各種メディアへの広報等による募集活動が実施され、入居支援も計画に基づき実施されていた。 【平均入居率】 R3 : 89.7% ← R2 : 80.7%
	②収支状況	B	事業計画に基づき、適切な執行がなされており、収支状況は均衡を保った。
	③サービス向上	B	入居企業からの意見も踏まえた多様な切り口で交流会・セミナーを企画するとともに、(公財)岡山県産業振興財団や県内金融機関と連携した情報提供が実施されていた。
管理運営業務全般		B	契約書、業務年間計画書等に基づき、適切に維持管理業務及び運営業務が実施されていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A : 予定していた業務水準を上回った。

B : 予定していた業務水準を概ね実施した。

C : 予定していた業務水準の一部が実施できなかった。

D : 予定していた業務水準を下回った。